

### 地理歴史科（世界史探究）学習指導案

#### 1 単元名 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質

この単元は、「2 内容」の「B 諸地域の歴史的特質の形成」の「(3) 諸地域の歴史的特質」に該当する。

#### 2 単元の目標

- (1) 中華文明から秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国との動向を元に東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。
- (2) 東アジアと中央ユーラシア世界に関する資料を読み取り、分析する能力を身に付ける。
- (3) 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関する諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりしながら春秋・戦国時代や唐の政治・社会・文化などについて考察し、表現する。
- (4) 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関して、見通しをもって学習に取り組み、主体的に追究する。

#### 3 単元の指導計画（全体 12 時間）

##### (1) 指導計画

- ・中華文明の形成 4 時間（本時 3 / 4 および 4 / 4 時）
- ・秦漢帝国と東アジア 2 時間
- ・中央ユーラシアと遊牧国家 2 時間
- ・ユーラシアの変動と東アジア 4 時間

##### (2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中華文明から秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国との動向を元に東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。</li> <li>・東アジア世界などに関する資料を読み取り、分析している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関する諸事象の背景や原因などに着目し、主題を設定する。また諸資料を比較し、関連付けながら春秋・戦国時代や唐の政治・社会・文化などについて考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関して、見通しをもって学習に取り組み、主体的に追究している。</li> </ul>

##### (3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1次 (1)	【学習課題】<単元を貫く問い> 「東アジアと中央ユーラシアの社会・国家・宗教・文化にはどのような特徴があるか」 ・単元を貫く問い	【ねらい】小単元の単元を貫く問いを確認し見通しをもつ。		●		(B) 第7次にまとめて評価する。	
第2次 (1)	【学習課題】「中華文明の政治と思想の特徴は何か」 ・中華文明の形成 ・春秋・戦国時代	【ねらい】殷や春秋・戦国時代の政治・思想の特徴を理解する。	●			【知】 (B) 殷の神権政治や諸子百家について理解している。	・ワークシート① 学習課題1の記述を基に評価する。
第3次 (2)	【学習課題】 「あなたが春秋・戦国時代の君主だとしたら、どの思想家を採用しますか」 ・君主に諸子百家の採用を建言するグループワーク	【ねらい】諸子百家の思想を資料から読み取り、どう統治に役立つか考察する。		○	○	【思】 (4) ア参照 【主】 (4) イ参照	・ワークシート② 学習課題および振り返りの記述を基に評価する。

第4次 (2)	<p>【学習課題】「秦と漢の統治方法の違いは何か」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秦と漢の統治</li> <li>・漢の社会・文化</li> <li>・小テスト1</li> </ul>	<p>【ねらい】秦と漢の統治方法や思想の相違点を比較する。中華文明から秦・漢に関する基本的な用語を理解する。</p>	○	●	<p>【思】</p> <p>(B)郡県制と郡国制、法家による統治と儒家による統治を対比している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストの結果により評価する。</li> <li>・ワークシート①学習課題2の記述を基に評価する。</li> </ul>	
第5次 (2)	<p>【学習課題】「遊牧民の移動はユーラシアの国家にどのような変化をもたらしたか」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊牧国家</li> <li>・魏晉南北朝時代</li> </ul>	<p>【ねらい】遊牧民の移動とその影響を理解する。</p>	●		<p>【知】</p> <p>(B)東アジアや中央アジアで生まれた遊牧国家について理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート①学習課題3の記述を基に評価する。</li> </ul>	
第6次 (3)	<p>【学習課題】「8世紀前半から唐の制度はどのように変化したか」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隋唐帝国</li> <li>・晋唐文化</li> <li>・唐の体制転換</li> </ul>	<p>【ねらい】隋・唐の政治・社会・文化について理解し、均田制の崩壊に伴う諸制度の変化を考察する。</p>	●	●	<p>【知】</p> <p>(B) 隋・唐の政治・社会・文化について理解している。</p> <p>【思】</p> <p>(B) 均田制の崩壊に伴う土地制度や税制の変化について考察している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート①学習課題4の記述を基に評価する。</li> </ul>	
第7次 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト2</li> <li>・単元を貫く問い</li> </ul>	<p>【ねらい】遊牧国家から隋・唐に関する基本的な用語を理解する。東アジアと中央ユーラシアの社会・国家・宗教・文化について例を挙げて考察する。</p>	○	○	○	<p>【思】</p> <p>(B)東アジアと中央ユーラシアの社会などについて例をあげて考察している。</p> <p>(C)項目を1つ指定し、教科書の該当部分を抜き出す指導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストの点数により評価する</li> <li>・ワークシート①単元を貫く問いを基に評価する。</li> </ul>

## (4) 評価問題及び評価規準

## ア ワークシート2(2)の評価規準【思考・判断・表現】

・諸子百家の思想について、資料を根拠に読み取り、その特徴や国家の統治にどう役立つかを考察している。

## 判断基準

「おおむね満足できる」状況(B)と判断される例

・諸子百家に関する思想について、資料を根拠に述べ、国家の統治にどう役立つか説明している。

「十分満足できる」状況(A)と判断される例

・諸子百家に関する思想について、資料を根拠に述べ、国家の統治に役立つ部分や弱点を多角的に説明している。

「努力を要する」状況(C)と判断される例とその生徒への支援

・選択した諸子百家の思想について復習させ、グループワークで提案された内容を確認させる。

## イ ワークシート2(3)(振り返り)の評価規準【主体的に学習に取り組む態度】

・諸子百家の思想について、資料の読解やグループワークに主体的に取り組み、これまでの学習と結び付け、さらなる学習への見通しをもっている。

## 判断基準

「おおむね満足できる」状況(B)と判断される例

・一連の活動について、うまくいった点やうまくいかない点について自己分析している。または、これまでの学習と結び付けられている。

「十分満足できる」状況(A)と判断される例

・一連の活動についてうまくいった点やうまくいかない点について自己分析しており、これまでの学習と結び付けて考え、さらに学習を深めるための見通しをもって主体的に追究しようとしている。

「努力を要する」状況(C)と判断される例とその生徒への支援

・グループワークの中でできたこととできなかったことを書き出させ、自己分析を促す。

## 4 本時の指導と評価の計画

## (1) 本時の目標

ア 諸子百家の思想について、資料を根拠に読み取り、その特徴や国家の統治にどう役立つかを考察する。

イ 諸子百家の思想について、資料の読解やグループワークに主体的に取り組み、これまでの学習と結び付け、さらなる学習への見通しをもつ。

## (2) 本時の展開(2時間分)

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ分け</li> <li>担当する諸子百家の決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ分けを行い、アイスブレイクを行う。</li> <li>担当したい諸子百家を第3希望まで選択する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話しやすい雰囲気を作り、司会、書記・進言1・進言2の役割を分ける。</li> <li>希望を調整し、なるべく各学派のグループ数を均等にする。</li> </ul>
展開1	【グループワーク】「あなたは君主にどの思想家の採用を進言するか」		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>思想のまとめ</li> <li>進言の内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で学んだことを整理し、諸子百家の概要を復習する。学派ごとに提示された資料を読み取る。</li> <li>進言を作成し、ロイロノートにより提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を読み取りやすくするため、概要をまとめ提示する。</li> <li>判断のポイントを示し、提案の方向を示す。</li> </ul>
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>進言(発表と評価)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進言1、進言2の生徒を中心にグループごとに進言を行う。</li> <li>他のグループは進言を評価し、質問・反論を行い、進言者がそれに回答する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問する班を事前に指定しておく。</li> </ul>

まとめ	・採用結果とまとめ	・採用結果を聞く。	・評価者は採用結果とともに取組や進言の中で優れていたところなどをフィードバックする。 ・秦と漢でも諸子百家が採用されることを予告し、今後の見通しを示す。
	【学習課題】「あなたが春秋・戦国時代の君主だとしたら、どの思想家を採用しますか」		
	・学習課題と振り返り	・学習課題と振り返りについてロイロノートを使って提出する。	・評価規準を参照させ、方向性を示す。 ○ワークシート2(2)(3) 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】

## (3) 本時の評価規準

## 3 (4) 参照

## 5 成果と課題

今回、学習課題を設定し、生徒が自ら考え、判断・表現する場面を設定した授業を実践し、約98%の生徒がB評価以上であったことから、生徒の思考力・判断力・表現力を向上させることができたと言える。

また、グループ学習を行ってから個別学習に取り組むという流れをつくることで、世界史が得意でない生徒も課題に取り組みやすくなり、学習効果を高めることにつながることができた。実際に、グループ学習を通して漢文資料を読み取ることのおもしろさに気付いた生徒も多く、今後の学習への動機付けとなり、主体的に学習に取り組む態度を身に付けることにつながったと言える。

一方で、学習課題はあくまで与えられた課題を行っている段階なので、今後は、生徒自ら課題を設定するような授業にしていきたい。また、授業の前に学習の記録を書かせることをしなかったため、生徒の変容を見取ることが十分にできなかった。これは基本的なことなので、今後は授業の前後できちんと記録をとり、生徒の変容を見取るように改善する。

## 6 参考文献

- ・『諸子百家』（湯浅邦弘、中央公論新社、2009年）
- ・『中国哲学史』（中島隆博、中央公論新社、2022年）
- ・『古典探究 漢文編』（桐原書店、2022年）
- ・『精選古典探究 漢文編』（東京書籍、2022年）